

Mar. 2014

No. 196

3

**特集:『誰もが安心できる地域づくりを目指して』
～「精神障害者社会参加啓発事業」の取り組みから～**

ぱる通信

地域精神保健福祉コミュニティ一誌



特集：誰もが安心できる地域づくりを目指して 「精神障害者社会参加啓発事業」の取り組みから



平成26年2月25日、「精神障害者社会参加地域啓発事業」として、中央地域の愛育委員の方々が地域の作業所に出かけ、当事者の方と直接触れ合い、一緒に体験することで感じたことをグループ討議や発表を行う研修会が開催されました。あすなろ福祉会スタッフ（井手・山口）が参加させて頂き、精神障がいへの理解のために愛育委員の方々に期待することをお話させて頂きました。

その研修事業に参加された、岡山市北区中央地域愛育委員連絡会の会長さん方と北区中央保健センターの保健師さんに、「精神障害者社会参加地域啓発事業」に参加された感想、精神疾患や精神障がいについて正しく理解し、共に暮らすまちづくりを目指していくための課題などについて語って頂きました。

「精神障害者社会参加地域啓発事業」は、岡山市愛育委員協議会が、岡山市より委託を受け、地域住民が精神障がいについて学び、偏見除去に向けて理解を深めていくこと、地域で生活する精神障がいの現状を知り、地域での生活の理解に努めること、精神障がい全般について学び、理解したことを周囲に向け、普及啓発を行うことを目的に実施しています。

この啓発事業は十六年前から始まり、岡山市東区、北区北、南区西、南区南とそれぞれの愛育委員連絡会が三年を単位に実施してきており、今年度から北区中央地域愛育委員連絡会が実施しています。中央地域の愛育委員の方の数は、十九地

現在、町内から選出された約五〇〇人の愛育委員が一人あたり五十四世帯を担当して活動をされています。

○○人の愛育委員が一人あたり五十四世帯を担当して活動をされていま

精神障害者社会参加地域啓発事業

今回の作業所見学は、岡山市内六か所の作業所に数名の愛育委員が訪問し、当事者の方と直接触れ合い、作業体験などが行われました。

精神障がいについては、「精神疾患とのある方は特別な人ではなく私たちと変わらない」ということが分かった、「心が優しく、純粋な方が多いことが分かった」などの報告がありました。

また、「作業所で作られている製品を、早速百個近く注文して帰りました」、「パソコンプリンターのカートリッジを集め、収益をしているという作業活動に協力するために、「地元の公民館に回収ボックスを設置し、先日作業所の方が引き取りに来てくださいました。私達にも出来ることをして、交流を深めたい。」などの積極的な意見も寄せられました。

研修会後、愛育委員より、辻正子会長、大塚由美子副会長、田中律子副会長、北区中央保健センターから、末石富士子センター長、能勢睦江保

皆さん、愛育委員会さんつてご存知ですか？各小学校区・地区ごとに組織されていて、地域のみなさんへの「声かけ」や「見守り」を通じて、地域の健康づくりの活動を行っています。

各区で約一一〇〇人、今回の研修会は各地区から選任された、会長をはじめ三名の委員の方々が、地域の作業所に出かけ体験を行い、グループで発表を行いました。

作業所見学から学んだこと

特集：誰もが安心できる地域づくりを目指して



左から北区中央保健センター末石保健師、
北区中央地域愛育委員連絡会、計画長、大塚副会長、田中副会長

●啓発事業1年目を終えて感想は？

愛育(田中)講師の先生や保健福祉センター長さんのお話を聞いたり、作業所に出向いたり、色々経験させてもらつて、少しは精神障がいのことについて学ぶことが出来たのではな
いかと思います。

手、山口が担当しました。

●啓発事業1年目を終えて感想は?

愛育(大塚)私の場合は事業所に行つたことが、ものすごくプラスになつたと思います。事業所の方々と触れ合つてみて、私たちと一つも変わらないと思いました。今までの「精神障がい」という偏見という壁が取れてきた気がします。私たちの学区の愛育委員が事業所に行つたというところが、とても良い経験になりました。

実際に接してみて初めて「こうな

本当にいい勉強になりました。

愛育(田中)新聞やニュースの記事などでこの間もありました、「小学生を誘拐した犯人は統合失調症なので名前を伏せる」という、そんな記事を

病気について知ることの大切さ

保健師（能勢） そうなるとご本人も病気の受け入れというのは難しいですね。今日も愛育委員さんから、「中学生が精神疾患こゝへて知つてすよね。」

●グループ討議で、事業所見学も大きなことで、更に地域に理解を広げていきたいと思います。その為には精神障がいのある方のお話を聞いたり、接したりするということだがとても大事だと思いました。

●グループ討議で、事業所見学の際、事前に注意事項を受けていたのが壁になったという意見

もあったが。
愛育（大塚） そもそも注意事項

を受ける前から、私たちは精神

感じていました。実際にアドバイスを受けていたとしても、どういふ風にお話しをすれば良いの

かなと思つたのは確かなんです。
愛育（田中）でも、一歩事業所に入つたら全然変わらないし、「え？ 病気なの？」という感じで思いました。本当にいい勉強になりました。

●事業に参加される前の精神障害のイメージは？

愛育（田中）新聞やニュースの記事などでこの間もありました、「小学生を誘拐した犯人は統合失調症なので名前を伏せる」という、そんな記事を見たら、どうしても良い印象は持てないですよね。私たちと変わらないとは思えなかつたのが、正直な気持ちです。

●精神科病院に対しては？

愛育（辻）暗いイメージが昔はありましたけど、岡山県精神科医療センターを見学させてもらつたんですけどああいう風にリラックスできる環境で、治療に専念できるといういのけいいなあと思いました。

愛育（大塚）どんな病状の人人が入院をして、どんな病状の方なら地域で暮らすことができるのか、病院が少ないから入院できないのか、親が病院に連れていくのが嫌だというのがあるのか、そういうところを知りたいという思いがあります。

愛育（辻） 暗いイメージが昔はありましたけど、岡山県精神科医療センターを見学させてもらつたんですけど、ああいう風にリラックスできる環境で、治療に専念できるといういのにはいいなあとと思いました。

病気の受け入れが違つてくるのではないか」と言っていたけど、知識として持つてることで、早期受診につながり、精神科医療というのが、もっと気軽に身近になつてくれれば、偏見の解消につながるのではないか

暮らすことができるのか、病院が少ないから入院できないのか、親が病院に連れていくのが嫌だというのがあるのか、そういうところを知りたいという思いがあります。

あすなろ（井手） 岡山県には精神科病院がたくさんあります。今の世の

愛育（辻） 「知る」ということがものすごく大切だと思います。今の子でも達にもそのような教育を受けて欲しい、こういう症状が起こる場合があるんだ、若い時に発病がしやすいんだよ、とかということを教えて頂けたらありがたいと思いますよね。皆で共同して精神障がいに対する正

特集：誰もが安心できる地域づくりを目指して

しい知識を広めていけたらいいなあと思います。

● 地域の中で実際に精神障がいを抱えておられる方々と接する機会は？

愛育（辻） 高校を卒業された方で、両親が早く亡くなられて、一人で住んでおられる方がいるんです。友達の家に行つては問題を起こすことがあって・・・。ゴミ箱をひっくり返したりされるんです。でも、行きつけの先生のところに行くと、症状がおさまる様なんです。周りの方もそのお子さんに関わっておられて、変化があればお医者さんにつなげているそうです。そのように友人を含め、周りで支えてくれる人がいるというのは、とても素晴らしいことだと思います。

あすなろ（井手）

愛育委員さんや、民生委員さんがちよつとのぞいてくれる、気にかけてくれるというのは、とてもありがたいですね。

愛育（辻） 私たちの関わりが持ちやすい方なら入りやすいのですが、拒否されて入れない方もいらっしゃるのではないかと思います。

あすなろ（井手） その辺りは保健師さんが一番経験があると思いますが・・・。

保健師（末石） 地域の中で孤立されている方がおられて、周りの方も困

られてご相談があるので、私たちには際、周りの方がどのように過ごせばその方と上手く過ごせるのか、逆に住民の方の不安を取り除くということをさせて頂くことがあります。ご本人さんからSOSを出して頂ける場合だけではないので、周りの方が抱えておられる不安という溝を埋める、ということはさせてもらっています。

保健師（能勢）

実際、大きな音をたてているとか、独語を言つていて、「あの人どんなん？」という声が寄せられるという所から始まることもあります。地域の中でのトラブルから始まるなど、理解を求めていくというのが難しい面があると思います。

反対に普段挨拶をしていた人が、た

またま作業所に行つていたという感じになると、まずは「その人」という受け止めから入るので、理解は違つくると思います。「事業所に通うのに、近所の方が毎日、おはようと声を掛けてくれるので、元気が出る」と話しておられる方がいます。挨拶を交わすというのはとても大事だと思います。また、地域の方が、「この人はこういう人」だと理解をして対応して頂いて、その人の思ふことを受け入れて下さる方もたくさんおられます。そのような方はわざわざ保

健所まで言わないので、私たちは分からぬのですが、おそらく地域の中には、そのように上手に対応されている方も多いのではないかと思います。

● 精神障がいについて理解を深めていく地域づくりのためには何が必要か？

保健師（能勢） 私は最初この研修をする時に、直接当事者の方々の話を聞いたり、会う機会というのが一番大事だと考え、そのような企画を愛育委員さんと一緒に取り組んできました。事業所で一緒にご飯を食べたり、作業を体験するようなことが、一番理解が広がると思います。

愛育（辻）

どうしても線を引きたいい分野というものがあると思うんです。それを取り除かないといけないでしょし、今日の山口さんのお話の中では、愛育委員を知らない人がいるというのは残念だな、私達ももっとP.Rしないといけないと思いました。

あすなろ（山口）

愛育委員として何か受け皿ができるらしいなと思いますね。まだまだ私たちに与えられる仕事はあるなと思いました。今まで独身、単身者の方に目が向いていましたが、山口さんのお話を聞いて「これは出番があるのかな」と思いました。

愛育（辻）

子育て中に発症されたという方もおられますよね。

あすなろ（山口）

赤ちゃんと訪問をして初めて愛育委員だと分かったという人もいました。事業所の活動報告で、子育てをしながら事業所に通っているという方のお話を聞いて、すばらしくなと思いました。

愛育（辻） 赤ちゃん訪問をして初めて愛育委員だと分かったという人もいました。事業所の活動報告で、子育てをしながら事業所に通っているという方のお話を聞いて、すばらしくなと思いました。

あすなろ（山口） 今後は、仕事に就いて、結婚して、子供を産むということが増えていくと思います。

愛育（辻）

愛育委員として何か受け皿ができるらしいなと思いますね。

愛育（辻）

まだまだ私たちに与えられる仕事はあるなと思いました。今まで独身、

愛育（辻）

単身者の方に目が向いていましたが、山口さんのお話を聞いて「これは出番があるのかな」と思いました。

愛育（辻）

子育て中に発症されたという方もおられますよね。

愛育（辻）

赤ちゃんと訪問をして初めて愛育委員だと分かったという人もいました。事業所の活動報告で、子育てをしながら事業所に通っている



左から能勢保健師、末石センター長

特集：誰もが安心できる地域づくりを目指して

愛育（辻） 私たちに何もできないけれど、保健師さんにつなげることは出 来ると思います。

愛育（田中） 育児放棄や虐待ということも、結局は相談相手がいないから起こつてしまつたのだと思います。

愛育（大塚） 子どものへの虐待ということを聞くと、そこに母親の「両親がいなかつたのかなあと思つてしま います。

保健師（能勢） 必ずしも親子関係が良好かといえば、そうではない方もいると思います。

愛育（辻） 親自身もおそらく、そのような生活を強いられながら育つてきたのかもしれない。先日、虐待の話でお聞きしたのですが、「学校に行かなくてもいい、自分も学校に通つていなかつたから。下の兄弟の面倒を見るのが当たり前」だと。育つてきた環境、体験によってそのようなことが起きたのが当たり前のようだ。

愛育（大塚） 子育てというのは、母から子へ受け継がれていくものだと思いますが、最近のお母さん方の子育ては、私たちの子育てとは違つたところがありますよね。

保健師（能勢） お母さんが変わつているということもあるけど、社会も変わつているということもあると思 います。愛育委員さんに絵本を持つ

て全戸訪問して頂いている「こんなちは赤ちゃんの訪問」以外、一ヶ月誰とも話をしなかつたという方もおられました。声を掛け合うというのは、障がいがある無しに関わらず、普通にあつたらいいと思うのです。でも「ここにちは」「かわいいね」「おはよう」という声掛けがなかなか言えない社会が出来上がっていますよね。

地域の中の安心できる居場所

愛育（大塚） 昔は向こう三軒隣りで、何があつたら助け合っていたけど、今は核家族で、鍵を掛けた生活しようという世の中ですから、余程自分の方から友達を求めていかない限りは孤立しがちですよね。

保健師（能勢） 作業所の体験報告の中では、居場所の大切さに気づいたという報告がありました。赤ちゃんがいる家庭に限らず、お互いがノックし合うことができる場所作りができたらいいなと思います。それは別に障がない、年齢問わず、地域の方が安心できる、皆に支えられた居場所が作れたらいいですよね。

愛育（大塚） 「子育て広場」という活動を毎週行つているのですが、小さい赤ちゃんを連れて来て、そこで少

しでもストレスを解消していかれるんです。気軽に逛つて交流をしながら、ストレスを解消するという場所は大切ですね。

●事業の今後については？

愛育（辻） 今年度学んだことを基礎に、今後は地域の中に精神障がいに対する理解を広めていくことが出来るようになります。今後の相談訪問をさせて頂きたいと思います。

一度だけではなく、何かきっかけを作つて、自然に作業所を訪れることが出来たらしいなと思います。更に

将来的に、地域の中で居場所のような拠点ができるといいでですね。悩み相談等も一緒に話し合つてみませんか？という場所が、各地域にあつたらしいなと思います。赤ちゃんを連れていこうか、そんな場所を作れたらいいなと思います。

いいですね。

保健師（能勢） 今後継続した活動としていくには、地域の中でそのような場所があるといいですよね。

愛育（田中） 来年度は、各学区や地区の地域の愛育委員の方々で研修をしようということにしています。

で見てもいいと思います。

地域に理解の種を蒔く

保健師（能勢） 愛育委員さんがすごいのは、私たち保健師がいくら一対一で活動しても、年間百件訪問に行けるか行けないかだと思います。愛育委員さんって中央地域だけでも千人くらいはおられて、一部の愛育委員さんにお伝えしたことが、五百倍、千倍になつて返つてくるという

のは、地域の組織である愛育委員さんの力だと思います。今回の事業でもこんなことがあつたんだと、お家の人によつて頂いたら、すでに二倍の人に伝わりますよね。そういう意味では、愛育委員さんが理解の先端に立つて頂くというのは、地域に理解の種を蒔く上では大事なことだと思つています。

愛育（大塚） 今回の事業所体験は、地区の会長だけでなく、更に二~三人の愛育委員も参加したのは良かったと思います。

も、仲間がいるということは大事なことですね。



『元気になろうやフェスタ』実行委員会の皆さんが遊びに来てくれました！

一月二十七日（木）美作市勝英地区から「ピアサポーター活動について知りたい！」という思いを持った総勢十七名（メンバー、家族、ボランティア、保健所の方等）が見学、交流に来られました。勝英地区では、当事者・家族・ボランティア・関係機関・市町村・保健所が協働して「元気になろうやフェスタ」というお祭りを毎年開催しているそうです。

心温まる、有意義で楽しい交流の時間が持て、印象深かつたのは、「元気になろうや実行委員会」を開いても、「いやつて見学」という形で皆で旅行したのは初めてで、とても良かつた。』とこう言葉です。クローバーとの交流の機会が、皆さんのがんばりで、皆さんの結束になりました。

貢献できた事、とてもうれしく思います。私達も、皆で一緒に美作に見学に行きたいと思いました。「元気になろうやフェスタ」にも、是非参加したいです♪黒々茶、きずなのかツキーなど、美味しいお土産をありがとうございました。

（木曾）



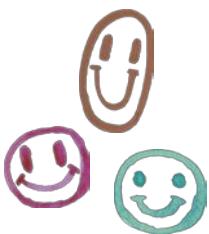
仲間の輪が広がった！

「パラレルの「元気+」で有名なコンボ主催のPNP（ピアネットワークロモーションプロジェクト）が、岡山県倉敷市の芸文館会議室で開催されました。

第一部では、岡山県のピアサポートグループ四団体（マイイングリッシュ、クローバー、ひまわり、スピーカーズビューロー）がそれぞれ個性溢れる活動紹介を行いました。コンボスタッフの方より、クローバーは多彩な活動をされていますねと言って頂き、うれしかったです。

第二部では、コンボの共同代表である宇田川健さんの「アシリテーターによる仲間の交流とリカバリーの輪を広げる為のピアサポートグループ」の進め方を学びました。

ネームプレートの裏に、家の近くの駅や名物を記して、地域が近いグループ（4～6人）で集まり、ワークショップを行いました。ファシリテーターの役割やグループの規約を皆で作るなど、とても有意義な学びとなりました。定員五十人に對し、四十九人が集まり、岡山のピアサポートの底力を感じました。事務局を担ってくれたスピーカーズビューローさんお疲れ様でした。



<今月のピア電話相談日>相談電話 086-270-3325

	月	火	水	木	金	土
	3	4	5	6	7	8
AM	○	○	×	○	○	×
PM	×	×	○	×	○	×
	10	11	12	13	14	15
AM	○	○	×	○	○	×
PM	×	×	○	○	○	○
	17	18	19	20	21	22
AM	○	○	×	○	×	×
PM	×	×	○	○	×	○
	24	25	26	27	28	29
AM	×	○	×	○	○	×
PM	×	×	○	○	×	○
	31	同じ体験を持つ仲間（ピア）と話がしたい、 相談にのってほしい！という方、 ピア電話相談を是非ご利用下さい！仲間が待っています♪				
AM	○					
PM	×					

岡山県精神科医療センターデイケア
の社会資源プログラムで、
『WRAP講座』やってま～す♪



綿菓子

もしも翼があつたなら
彼女を乗せて 飛んで行く
もしも翼があつたなら
行くその先は未来かも
ゴタゴタと纏つた地上をしり目に
ふわふわと綿菓子のような雲の上で
りんごでも食べながら
終わる事のない永遠の命を
眠るように過ぎしてみたい



匿名希望

ぱるっこ広場



ゆきつむる

川柳

かるの屋根に

あすなろへ

たむき部屋

やさしいこころ

わが家かな

あなたに親愛

古楽日和

こがくびより

このところ、ワン・ダイレクションやザ・ナインティーン・エイト・ディグリーズとブルーという一組のボーイ・バンドが去年、ともに十年ぶりとなるニューアルバムをリリースした。

このところ、ワン・ダイレクションやザ・ウォンテッドといったグループの活躍により、再び活況を呈しきつつあるボーイ・バンド。そのボーイ・バンドの黄金期だったともいえる二〇〇〇年代初頭に活躍していた二つのグループが、こうして新作を出したというのは興味深い。

二〇〇〇年代初頭という、ちょうどバツクリストリー・ボーイズやインシンクといったグループが一世を風靡していた頃だ。バツクリストリー・ボーイズの『シェイプ・オブ・マイ・ハート』やインシンクの『ディス・アイ・プロミス・ユー』などは、今聴いても名曲だと思う。

そんな頃に活躍していたナインティーン・エイト・ディグリーズとブルーが新作を出したという話は、だから興味深いのだ。二作を試聴してみたが、どちらも甲乙つけがたかった。こうなれば二作とも買ってしまいたいところだが、そこまでの予算は筆者にはない。なんとも惜ましい限りだ。

ここにきてボーイ・バンドに再びスポットライトが当たってきたので「それならば新作を出して活動を再開させてみるか」と思ったのかも知れない。この世の中は結局すべてが商売なので、こうした打算的な思惑が働いたのかも知れない。だがそうだとしてもこの二作のアルバムは素直に喜びたい。

藤井 健喜



INFORMATION

3月の予定

1	土	ぱる閉所
2	日	
3	月	ぱる閉所
4	火	梅見（お弁当を作つて後楽園に行きます） 陶芸 13:30～
5	水	SST10:00～
6	木	WRAP(元気回復行動プラン)10:00～
7	金	図書館サークル 10:00～ ピアサポフォローアップ講座 14:00～
8	土	就労者いちご狩り ぱる閉所
9	日	
10	月	パソコン講座 10:00～ ソフトボール練習 13:30～
11	火	クローバーしゃべり場 13:30～ 陶芸 13:30～
12	水	ソフトボール交流試合
13	木	仕事 WRAP13:30～
14	金	きばらしフェスティバル
15	土	クローバーパソコン講座(自立支援 HP)
16	日	カラオケサークル 10:00～
17	月	ソフトボール練習 13:00～
18	火	パソコン講座 10:00～ 陶芸 13:00～
19	水	SST10:00～
20	木	WRAP(元気回復行動プラン)10:00～ 女子会 14:00～
21	金	春分の日
22	土	お抹茶教室 14:00～
23	日	
24	月	午後からぱる閉所
25	火	午後からぱる閉所 陶芸 13:30～
26	水	
27	木	仕事 WRAP13:30～
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	ソフトボール練習 13:00～

『ぱるスペースMOMO』 営業お休みのお知らせ

現在、『ぱるスペースMOMO』は、店内整備の為、お店の営業をお休みさせて頂いています。お店の再開が決まり次第、皆様にお知らせさせて頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。

MOMOスタッフ一同



- 発行:社会福祉法人あすなろ福祉会
- 〒703-8256 岡山市中区浜475-5
- 編集:ぱる・おかやま
- TEL:086-270-3322 ■ FAX:086-273-9692
- HP:<http://www.eco-asunaro.jp>

20日(木) おしゃべり大好き女子集まれ! 女子会♪

毎月1回、楽しい雰囲気の中テーマを決めて、女子トークに花を咲かせています。

時間 14:00～
場所 ぱる・おかやま

10日・18日・24日 パソコン講座

個別で進める講座です。初心者でも丁寧に進めていくので安心です。基本火曜日にしています。毎週金曜日の午後から自習しています。

時間 10:00～
場所 Job Support Center ASUNARO
参加費 無料

10日・17日・31日(月) ソフトボール

集まれ！グラウンドが護岸工事で狭くなりましたが、みんな寒さに負けず走り回っています。12日(水)に万成病院のチームと練習試合をします。良い交流にしたいです♪

時間 13:30～
場所 百間川河川敷

4日・11日・18日・25日(火) 陶芸教室

土を触ると癒されますよ。基礎からご指導します。独創的な自分の作品を作りましょう。

時間 13:30出発します
場所 ぱる1階

14日(金) きばらしフェスティバル

出場者によるのど自慢や、多彩なパフォーマンスが楽しめますよ～！！

時間 10:00～
場所 三木記念ホール

22日(土)

お抹茶教室

おいしいお抹茶とお菓子を頂きながら、ゆっくりとした時間を過ごしませんか♪

時間 14:00～
場所 ぱる2階